

# 大学・公的機関名英語表記ゆれテーブル (Scopus 版) (Ver.2013.1)

## 利用の手引き

2013年12月10日

文部科学省科学技術・学術政策研究所

### 1. はじめに

研究論文等のデータベースの利用に際して、機関名で検索したり、機関別の集計や分析を行ったりすることがよくあります。そのときの厄介な問題の一つは、機関名の表記が統一されておらず、いろいろな「表記のゆれ」が見られることです。英語のデータベースで、たとえば東京大学の正式英語名は(The) University of Tokyo ですが、これが University Tokyo、Tokyo University などと表記されたり、“University”が”Univ.”、“Univ”、“U.”などと略記されたりします。この問題に対処するため、データベースによっては各機関に固有の識別番号を与える試みもなされていますが、現状では十分に識別がなされているわけではありません。

科学技術・学術政策研究所(NISTEP)が「科学技術イノベーションにおける“政策のための科学”推進事業」の一環として進めている「公的研究機関に関するデータ整備」では、その整備事業の中で、データベースで使われている機関表記のゆれを調査・分析しています。今回、大規模な書誌・引用データベースである Scopus (Elsevier 社製) の機関名英語表記ゆれを調査した結果の一部を、Elsevier 社の了解を得て公開いたします。このデータベースを利用される方々に役立てていただくことを期待しています。

#### ※このテーブルの利用について

大学・公的機関名英語表記ゆれテーブル(Scopus 版)の利用については、クリエイティブ・コモンズ・ライセンス(CC ライセンス)の「表示-継承」を適用します。すなわち、原作者のクレジットを



表示し、変更した場合にはこのテーブルと元の作品と同じ CC ライセンス (表示-継承) で公開することを守れば、営利目的での二次利用も許可されます。表示するクレジットは次のようになります。

原作者名: 文部科学省科学技術・学術政策研究所

作品タイトル: 大学・公的機関名英語表記ゆれテーブル(Scopus 版)

URL: <http://www.nistep.go.jp/research/scisip/data-and-information-infrastructure>

CC ライセンスと、このライセンスのコモンズ証、リーガルコードについては、<http://creativecommons.jp/licenses/> をご覧下さい。

### 2. データ源と抽出した機関表記

データ源は、1996-2010年の期間に Scopus データベースに採録された論文のうち、日本の機関に所属する著者を含む論文のデータです。これに該当する論文は約 150 万件、そ

の中の日本機関のデータは延べ 272 万件以上になります<sup>1</sup>。

これらの機関データの表記に基づき、機関同定を行いました。今回公開する「大学・公的機関名英語表記ゆれテーブル(Scopus 版)」Ver.2013.1 (以下「テーブル」と略記)には、このうち、

- ・延べ機関データ数が 1,000 以上の大学(大学共同利用機関を含む)及び公的機関(国の機関、特殊法人・独立行政法人)について、
- ・10 回以上出現した表記バリエーション

を示しています。これに該当する大学は 205、公的機関は 40 になります。また、10 回以上出現の表記バリエーションの総数は 1,461 (大学 921、公的機関 540)、これらの表記バリエーションでカバーされる機関データ総数は 171.0 万 (大学 150.0 万、公的機関 21.0 万) です。Scopus でこれらの表記バリエーションをすべて含めた検索や抽出を行えば、対象の機関の大部分の論文データをカバーすることができます。なお、これは元の全機関データ 272 万の 63%を占めています。

### 3. テーブルから除外した表記バリエーション

2. に述べた条件 (延べデータ数 1,000 以上の機関に対する出現度数 10 以上の表記バリエーション) に適合しても、次のようなものはテーブルから除かれています。

#### (1) 大学名と部局名が合体した表記

次のような例があります。

Yokohama City Univ. Sch. of Medicine

Kyushu University Hospital

Tohoku University Biomedical Engineering Research Organization

#### (2) 所在地の一部や郵便番号が混入した表記

次のような例があります。

Nagoya University, Chikusa

Univ. Tokyo, 7-3-1 Hongo, B. (“B”は Bunkyo の略)

Nagoya Inst. Technol., G. (“G”は Gokisho-machi の略)

Okayama University at Misasa

Kyoto University, 606-8501

#### (3) その他

著者が所属する他機関の組織名の混入 (例 : Osaka University and CREST) など。

上の例で判るように、これらの表記バリエーションのほとんどは、テーブルに存在する表記にそれ以外の情報が付加されたものです。従って、テーブル中の表記による部分一致

---

<sup>1</sup> Scopus の書誌データの利用については、Scopus の購読機関と Elsevier 社が取り交わす利用規約が適用されます。

検索（「を含む」検索）を行えば、これらも含めて検索することができます。

但し、一部の独立行政法人では、次の例のように、その下の研究所名や組織名のみで表記されている場合が相当ありますので、このような表記バリエーションも掲載しています。

**Institute of Space and Astronautical Science**（独立行政法人宇宙航空研究開発機構に属する宇宙科学研究所の名称）

**CREST**（独立行政法人科学技術振興機構の事業プロジェクト名）

**National Agricultural Research Center**（独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構に属する中央農業総合研究センター）

#### 4. テーブルの見方

テーブルは、csv 形式です。

##### 4.1 各項目（テーブルの列）の説明

- (1) 機関名：機関の日本語名称です。
- (2) 機関 ID：NISTEP が作成する大学・公的機関名辞書で与えられている各機関の識別番号です。この番号の最初の 7 桁(NID2012)は機関 ID の作成年を示していますが、そのあとの 11 桁はランダムに付与した数字であり、特別の意味はありません。なお、大学・公的機関名辞書もこのサイトで公開しています。
- (3) セクター及びセクター番号：機関が属するセクターと、それらに付けられた番号で、次のようになっています。

	セクター番号	セクター
大学	1	国立大学
	4	公立大学
	7	大学共同利用機関
	12	私立大学
公的機関	8	国の機関
	9	特殊法人・独立行政法人

- (4) 表記バリエーション：Scopus における機関表記です。略語の後のピリオドの有無なども、Scopus の表示通りです。
- (5) 英語正式名：各大学の英語正式名に当たる表記バリエーションに○印を付けています。英語正式名は、大学・公的機関名辞書への登録時に確認しています。
- (6) 出現度数：当該の表記バリエーションが Scopus に出現した回数です。一つの論文に同じ機関が複数回出現する場合もあることから、この数は論文数とは一致しません。
- (7) 注記：次のような場合に付けられています。

- ・その表記バリエーションに曖昧性がある（他の機関の可能性のある）場合
- ・当該の機関が現存しない場合(継承機関の情報等を注記)

#### 4.2 レコード（テーブルの行）の並び順

レコードは次の順序に配列されています。

- (1) セクター番号の順
- (2) 各セクターの中で機関名の漢字コード順
- (3) 各機関内でまず英語正式名表記、残りは出現度数の多い順

#### 【この「利用の手引き」の改訂履歴】

2012/12/26 大学名英語表記ゆれテーブル(Ver. 2012.1)利用の手引き

2013/07/01 大学・公的機関名英語表記ゆれテーブル(Ver.2013.1)利用の手引き

2013/12/10 大学・公的機関名英語表記ゆれテーブル（Scopus 版）(Ver.2013.1)利用の手引き